

# 12月定例会の概要

## 会期日程(19日間)

11月	29日(月)	本会議・常任委員会
	30日(火)	本会議
12月	1日(水)	議案調査
	2日(木)	
	3日(金)	
	6日(月)	
	7日(火)	
	8日(水)	本会議 (一般質問)
	9日(木)	
	10日(金)	
	13日(月)	常任委員会
	14日(火)	
16日(木)	本会議・常任委員会	
17日(金)	本会議	

## 知事説明要旨

第2期県政にあたり、「和歌山を元気に あたため改革」をスローガンに掲げ、4つの政策を実行してまいります。第1に、産業振興や企業誘致などで働く場をもっと増やします。第2に、福祉・医療など、安全安心の更なる向上に努めます。第3に、スポーツ・文化の振興、都市の再生等で活力と品格のある和歌山づくりを進めます。第4に、県民の伸びるチャンスを増やすため、道路などのインフラを充実させます。



## 一般質問議員 16人

12月8日(水)	12月9日(木)	12月10日(金)	12月13日(月)
向井嘉久藏	森 礼子	大沢広太郎	花田 健吉
多田 純一	雑賀 光夫	片桐 章浩	山下 大輔
松坂 英樹	原 日出夫	奥村 規子	井出 益弘
浦口 高典	川口 文章	前芝 雅嗣	中村 裕一

主な質問とこれに対する知事や関係当局の答弁は次のとおりです。(要約抜粋)

**問** やる気のある企業に対し、研究開発、商品化、販売と一貫した支援体制が求められている。わかやま産業振興財団の役割は大きい、どう考えるか。

**答** やる気がある企業に対しては、企業の技術や新商品の開発、さらには販路開拓など、わかやま産業振興財団を中核支援機関と位置づけ、県工業技術センターなども連携しながら、一貫して支援していく。

## 県内中小企業の育成



**問** 国土交通省の成長戦略会議の方針にのっとり、関西国際空港と伊丹空港の統合案が示されたが、どう考えるか。

**答** 国が率先して有利子負債の問題に取り組みとうとしていく点は一歩前進と評価するが、今回の統合案でこれがすべて解消されるのか、空港運営に地元自治体の意見が反映されるシステムになっているのか等の課題について、きちんと担保するよう国に強く意見を言っていく。

## 関西国際空港と大阪国際(伊丹)空港の経営統合

**問** ダンプキングの激化によるデフレスパイラルが深刻化しており、設計単価の決定過程に大きな影響を及ぼしている。和歌山方式として独自の決定方法を検討してはどうか。

**答** 設計単価は基本的には国の考え方に基づいているが、明らかでない事情で和歌山県は別の算定方法をとるべきだときちんと説明できる場合は配慮したい。それが和歌山方式になると考えている。

## 建設業界を取り巻くデフレ対策

**問** 鉄道のスピードアップ化を促進しないと、「和歌山の陸の孤島化」がますます進行する。南海本線や高野線の時間短縮やJR紀勢本線への新たな快速電車の導入等、これら鉄道のスピードアップ化に対する県当局の取組は。

**答** 南海本線や高野線のスピードアップ化は、事業者が鋭意取り組んできており、さらなる時間短縮は容易ではない。またJR紀勢本線への新たな快速電車の導入についても、現在の利用状況から厳しいと聞いている。しかしながら、県として今後とも事業者に粘り強く働きかけ、鉄道の利便性の向上に努める。

**問** 設計単価は基本的には国の考え方に基づいているが、明らかでない事情で和歌山県は別の算定方法をとるべきだときちんと説明できる場合は配慮したい。それが和歌山方式になると考えている。

**デフレスパイラル**  
デフレ(持続的に物価が下がっていく現象)になっても需要が上昇せず、さらにデフレを進行させ、景気がどんどん悪くなる状況。

## 鉄道の利便性向上

**問** 現在、見直し案として、例の評価の廃止・軽減、一定期間受注していない事業者向けの特別枠の設置など、さまざまな検討を進めている。今回の申し入れの趣旨を踏まえ、見直し案を早急に取りまとめ、議会や各地域の事業者の意見を幅広く聴き、よりよい制度となるよう取り組んでいきたい。

## 入札制度の改善

**問** 制度導入以来、それぞれの地元でいろいろな意見を聞き、それらを集約して10月初旬に8項目の申し入れを行った。知事も選挙を通じてさまざまな意見を聞いたと思うが、申し入れについてどう考えるか。

**答** 現在、見直し案として、例の評価の廃止・軽減、一定期間受注していない事業者向けの特別枠の設置など、さまざまな検討を進めている。今回の申し入れの趣旨を踏まえ、見直し案を早急に取りまとめ、議会や各地域の事業者の意見を幅広く聴き、よりよい制度となるよう取り組んでいきたい。

**問** 知事は、幅の狭い恋野橋(橋本市)を架け替えること約束したが、どうか。

**答** 市や促進協議会から要望がある県道山内恋野線の恋野橋は、今後、早く事業化できるように、地元関係者の意見を聞きながら、具体的なルートの確認など、早急に着手する。

## 恋野橋の架け替え

**問** うつ病は、不登校やひきこもり、自殺にまで至ることもある。早急に総合的なうつ病対策ビジョンを策定し、県民を守る必要があると思うが。

**答** 平成25年改定予定の「和歌山県における自殺対策の推進基本方針」を平成23年度から見直し、「自殺・うつ病対策の基本方針」に改め、うつ病患者の支援体制のあり方、認知行動療法的位置づけなど、総合的な対策の方向性を盛り込む。

## 看護学生の修学資金制度

**問** 看護師不足が続く中、看護学生への修学資金の貸与総額・貸与人数が減少しているが、制度の拡充は。

**答** 看護職員の確保対策については、「養育力確保・就業促進・離職防止・資質向上」を4本柱として、量と質の両面にわたり取り組んでいる。看護学生を対象とした修学資金制度の拡充については、今後、看護職員確保対策全体の事業の中で効果的な方策を検討する。

**問** うつ病は、不登校やひきこもり、自殺にまで至ることもある。早急に総合的なうつ病対策ビジョンを策定し、県民を守る必要があると思うが。

**答** 平成25年改定予定の「和歌山県における自殺対策の推進基本方針」を平成23年度から見直し、「自殺・うつ病対策の基本方針」に改め、うつ病患者の支援体制のあり方、認知行動療法的位置づけなど、総合的な対策の方向性を盛り込む。

## うつ病対策の計画策定

